

# 町村週報

(町村の購読料は会費)  
の中に含まれております

## 3111号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 武居丈二：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<http://www.zck.or.jp>



天空の郷 (奈良県十津川村)

もくじ			
随 想	情 報	フォーラム	政 策
環境にやさしいまち〜日本初のZEB庁舎〜… 神奈川 裕一… (10)	町村ご当地キャラじまん… (9)	大紀町の体験型観光事業と特産品Ⅱ三重県大紀町… (5)	森林環境譲与税を活用した森林整備等の推進 林野庁森林整備部… (2)

### コラム

## 古道と果無集落

神戸芸術工科大学教授・東京大学名誉教授 西村 幸夫

先日、奈良県十津川村果無の集落を再訪する機会があり、小さな変化に嬉しい驚きがあった。ここは紀伊半島の最奥部、果無山地の地名の由来となった集落である。「はてなし」とは驚くべき地名のように思い、かつて訪れたことがあった。10戸足らずの尾根沿いの集落を貫くように熊野古道小辺路の尾根道が通っている。今では世界遺産になったこの古道に向かって民家の縁側が開いており、通りの向かい側には同じ家の離れがある。個人のお宅の中央を古道が抜けているのだ。公道とか敷地とかという発想が生まれる前から存在した集落なのだろう。そこに最近まで名物のおばあちゃんが佇んで、来訪者を迎えてくれていた。

世界遺産になって以降、集落周辺に花が植えられるようになったようで、そうした小さな変化に嬉しい驚きがあった。道標も整備され、山奥の小さな集落と世界とがこういう形で結びつくのだと感じ入った。尾根道はとも見晴らしがよく、遠くの山並みが幾重にも

重なって見えている。巡礼者も生活者もこうした風景を見ながらこの古い道を上ってきたのだろう。

集落の縁には村のコミュニティバスの小さな停留所があり、「世界遺産石碑前」とあった。時刻表には↑日上下2便ずつ、いずれも月曜日のみ運行とある。一方は十津川温泉行きて、もう一方は奥果無行き。果無でも驚いたのには、はてなしに奥があるとは…十津川村の奥行きの深さにまた驚かされた。

熊野の山は信仰の山である。ただ、この信仰の山は単なる巡礼の目的地ではない。自然の中の道行き自体が心身を清浄にしてくれるという自然と一体となる道である。

そうした日本固有の古道と壮大な山並みの光景と鄙びた集落の面影と、さらには必要最低限の生活のニーズを満たしてくれる小さなバス停とから成る果無の風景の不思議な調和に、しばし見入ってしまった。こうした集落の存続を心から願わずにはいられない。

### 写真キャプション

秘境・十津川村桑畑の果無集落は、世界遺産に登録された熊野参詣道小辺路沿いにある小さな集落。山脈の尾根に沿うように家々が点在し、古き良き日本の風景が残る。果無山脈を見渡すその美しさから「天空の郷」とも呼ばれる。

# 森林環境譲与税を活用した 森林整備等の推進

## 林野庁森林整備部森林利用課 森林集積推進室

### 1 はじめに

昨年3月に「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が成立し、同年9月には第1回目の森林環境譲与税の譲与が開始されました。

「森林環境税」及び「森林環境譲与税」は市町村及び都道府県が実施する森林整備等に必要な地方財源として創設されました。

森林の有する公益的機能は、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や水源の涵養等、国民に広く恩恵を与えるものであり、適切な森林の整備を進めていくことは、我が国の国土や国民の生命を守ることにつながる一方で、所有者や境界が分からない森林の増加、担い手の不足等が大きな課題となっています。

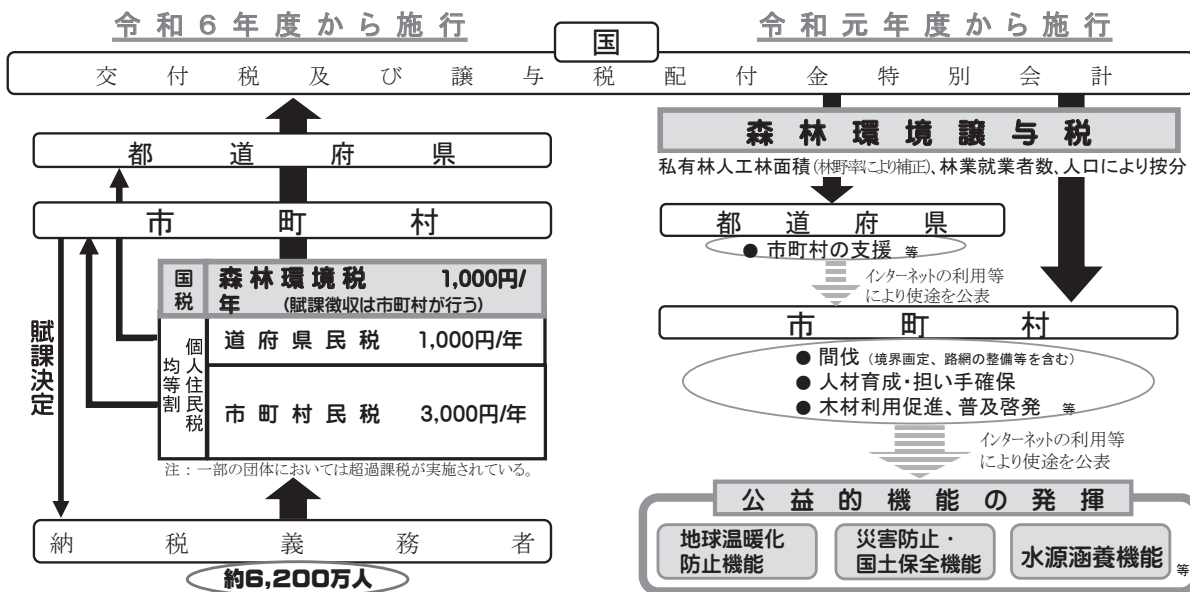
このような状況のもと、平成30年5月に成立した森林経営管理法を踏まえ、パリ協定の枠組みの下における我が国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、国民一人一人が等しく負担を分かち合っして我が国の森林を支える仕組みが創設されたものです。（資料①）

今年度は、森林環境譲与税の譲与

が始まった初年度であり、間伐等の森林整備に早速取り組み始めた市町村や管内全域の森林所有者に経営管理の取組状況や今後の意向を確認する「意向調査」を行っている市町村もあります。各地で地域の実情に

(資料①)

### 【制度設計イメージ】



政 策

じた取組が展開されつつありますので、本稿では市町村における取組の一部を紹介させていただきます。

2 市町村における取組

森林環境譲与税を活用して森林整備等を進めていく主体は市町村であり、その担う役割は重要です。併せて、昨年4月から森林経営管理制度が始まったところであり、適切な経営管理が行われていない森林で林業経営に適さないものについては、広葉樹も活用しつつ、公的管理による森林整備を行っていくことが期待されます。各市町村においては、これまで森林整備等についての経験が少ない場合でも、地域の森林組合等との連携を通じて、森林環境譲与税の活用に取り組んでいます。

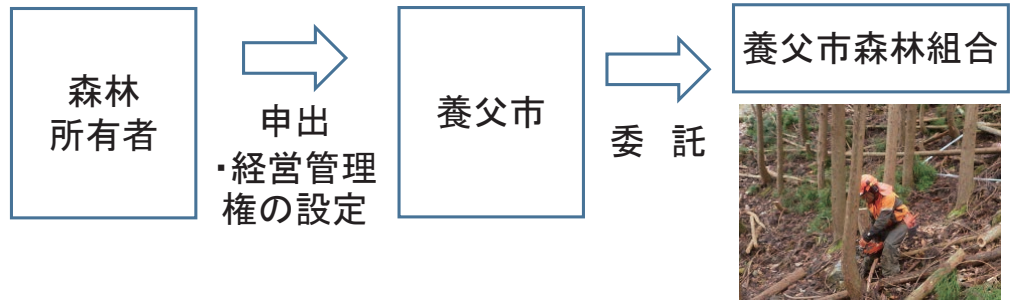
ここでは、全国の取組事例の中から、地域の実情に応じた森林整備等に取り組んでいる(1)兵庫県養父市、(2)大阪府千早赤阪村、(3)和歌山県かつらぎ町、(4)岡山県鏡野町、(5)愛知県豊明市・長野県上松町の取組を紹介します。

(1)兵庫県養父市  
兵庫県養父市では、手入れ不足の森林の解消と林業の担い手育成を図るため、森林環境譲与税を活用し、

(資料②)

養父市の森林整備の事業スキーム

間伐等の施業が過去10年されていない非経済林の保育間伐や自伐型林業に取り組む者を対象とした研修に取り組みます。同市は、今後、森林経営管理制度を円滑に進めていくための試行的な取組として、森林組合と連携し、経営管理の委託を希望



千早赤阪村の事業イメージ

(資料③)

【事業イメージ】植生マット等の補修に必要な材料費を補助する



植生マット設置前



植生マット設置後

する森林所有者を特定、森林所有者から申出をってもらうことで、経営管理権集積計画を作成しています。同市はこうした手法を活用して、対象森林の経営管理権を取得し、保育間伐を実施しています（保育間伐の作業は森林組合に委託）。（資料②）  
(2)大阪府千早赤阪村  
大阪府千早赤阪村では、健全な森林を次世代につなぐためには、まず

(3)和歌山県かつらぎ町  
和歌山県かつらぎ町では、県が定めている森林のゾーニングに則り、その中の木材搬出が困難な森林を対象として間伐を進めることとしています。また、台風等の自然災害により、作業道に支障が生じることが原因で間伐作業が中断してしまう事案が発生していることから、作業道の復旧への支援も行うことで円滑な事業継

は林業環境の改善という課題を解決する必要があるとの考えのもと、これまで十分な管理が出来ていなかった路網の改修・修繕を進めています。同村では、改修や修繕に要する原材料費を補助することで、限られた予算を多くの路線の整備につなげていくよう配慮がなされています。（資料③）



(資料④) 現場での作業実施状況イメージ

政 策

続を促すこととしています。(資料④)

(4)岡山県鏡野町

岡山県鏡野町では、地域の森林整備を推進するため、森林組合と連携し、「鏡野町森林づくりセンター」を新たに設置し、森林所有者への意向調査等に取り組んでいます。県に設置された人材バンクを活用し、県林業職OBを地域林政アドバイザーとして雇用しています。(資料⑤)

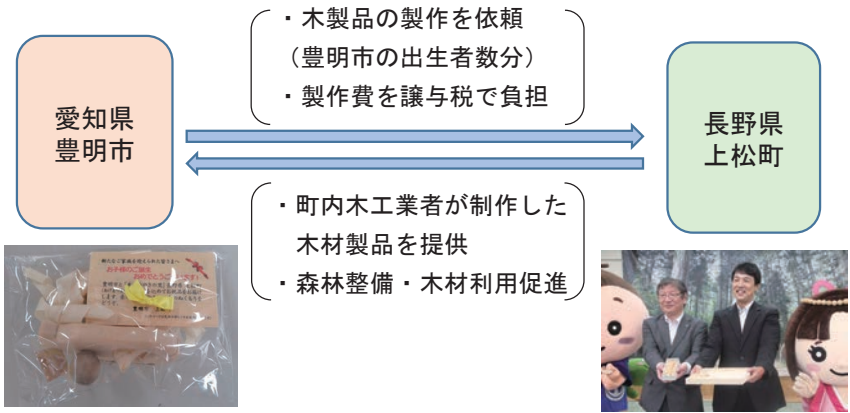
(5)愛知県豊明市・長野県上松町

愛知県豊明市は、名古屋近郊にあり、森林面積が少なく、上流域の水源地の森林の恩恵を大きく受けています。水源地である長野県上松町は同市の友好自治体でもあり、水源地の森林保全活動等を行うなど、上下交流を行っています。森林環境譲与税を活用して、上松町の木材が



(資料⑤) センター開所の様子

(資料⑥) 取組スキーム



3 今後に向けて

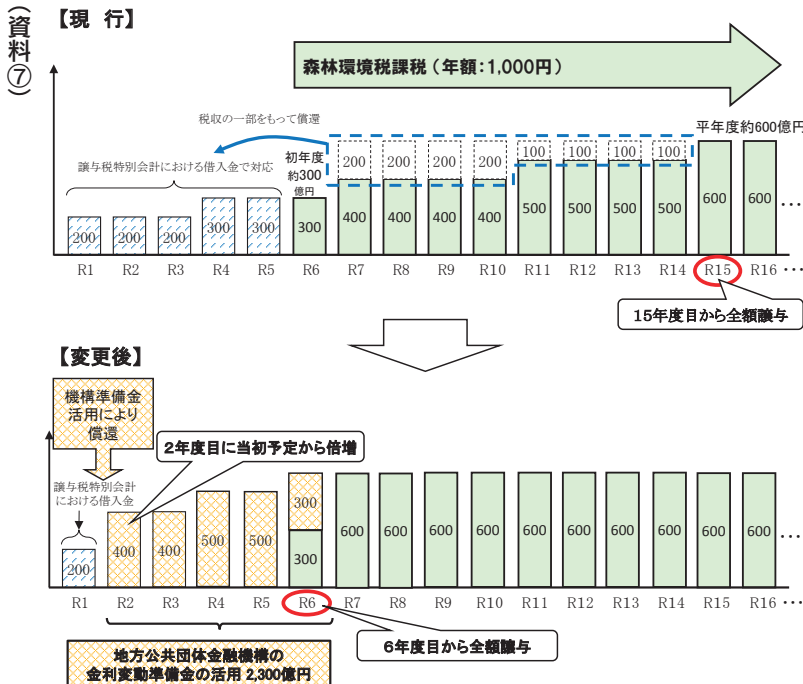
ら作られた食器やおもちゃを、豊明市で生まれた新生児にプレゼントすることにより、小さいころから木で作られた製品に触れることで、森林の大切さを考えてもらうこととしています。(資料⑥)

令和元年12月12日に、自民党・公

明党が「令和2年度税制改正大綱」(与党税制改正大綱)を決定しました。また、同年12月20日には、政府の「令和2年度税制改正の大綱」が閣議決定されました。

森林環境譲与税については、災害防止・国土保全機能強化等の観点から、森林整備を一層促進するため、地方公共団体金融機構の公庫債権金利変動準備金を活用し、交付税特別会計における譲与税財源の借入れを行わないこととした上で、森林環境譲与税の譲与額を前倒しで増額することとされました。(資料⑦)

これは、近年自然災害による甚大な被害が発生しており、災害防止等の観点からも森林整備の推進が喫緊の課題となつていくこと等を踏まえ措置されるものです。これにより、関連法等が成立すれば、



来年度の譲与額は、市町村においては今年度の約2・1倍となることが見込まれます。今般の見直しの趣旨を踏まえ、森林整備を一層推進していただくことが期待されます。本稿でご紹介した事例も含め、林野庁では取組事例集を作成し、HPに掲載しています。これも参考にさせていただきながら、地域の実情に応じた森林整備等に積極的に取り組んでいただきたいと思います。

フォーラム

SUPクルージング体験

現地レポート

町村独自のまちづくり



大紀町の体験型観光事業と特産品

三重県 大紀町

大紀町の概要

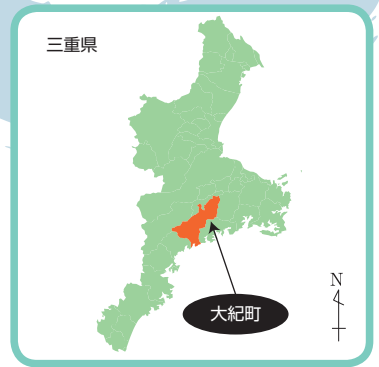
大紀町は三重県の中南部に位置し、南部が海岸に面するほかは、東西北部は他の4町に隣接しています。東西約24・8km、南北約26・3kmで、総面積233・32km<sup>2</sup>のうち約91%を山林が占めています。地形は全般に急峻で、町内を流れる一級河川の宮川、大内山川、藤川沿いに民家と耕地が散在する農山村部と、僅かな土地に民家が集中する海岸部から成る典型的な農山漁村地域です。平成17年2月14日に「旧大宮町」「旧紀勢町」「旧大内山村」の2町1村が合併し、海と山の幸に恵まれた、美しい自然に囲まれた風光明媚な地で、四季折々の彩りが楽し

める町になりました。

また、世界遺産登録されている熊野古道「ツツラト峠」をはじめ、今までそれぞれの地域が長い時間をかけて培ってきた伝統文化・気風、風習などは、古来より脈々と受け継がれています。比較的温暖な気候ではありますが、降水量は多めで、また、山間部と海岸部では地勢による違いがみられます。特に梅雨時期や台風シーズン、秋雨時



世界遺産熊野古道ツツラト峠



フォーラム

期に多量の降水量があり、停滞前線等の影響を受けやすい地域と言えます。

人口は令和元年11月末現在で8、367人。毎年約1%ずつ減少しており、少子高齢化に伴う年少人口の減少と高齢人口の増加が、人口全体の減少と相まって、生産年齢人口も年々減少しており、次世代を担う人材の確保と育成が当町の施策として急務となっています。

大紀町商工会の取組

地域資源を活用した特産品開発と体験型観光を切り口にした新たな農山漁村体験型観光事業の構築を目指し、平成25年に大紀町商工会の下部組織として大紀町地域活性化協議会を設立しました。

翌年の平成26年度からは、大紀町の「海・山・川」の恵みを活かした地域産品を「大紀ブランド」として認定する事業を開始し、ブランドロゴシールを貼付することで、商品に付加価値をつけ、また大紀町の統一ブランドイメージを与えるよう実践しています。キャッチフレーズは「海も」「山も」「川も」で、自然の恵みであることを強調しています。三重県内の大型商業施設や都市部で開催される物産展へも積極的に出展し、消費者の生の声を直接聞くことにより、生産者の自信や、今後の商品開発への意欲向上と販路拡大による所得向上に繋がっていくものと期

待しています。

体験プログラムの充実

大紀町地域活性化協議会は、地域の特性を活かしたオリジナルの自然体験プログラムの開発にも熱心に力を注ぎ、特に女性に人気のある「美・健康・癒し」をテーマとした美容ツリーズム「海ヨガ」「山ヨガ」「SUPヨガ」やヘルスツリーズムを本格的に商品化し、地域外からの交流人口の増加を目指しています。

他にも、農林漁業者をはじめ、農協、森林組合、漁協、地域おこしグループなどと連携し、農林漁業体験、自然体験、暮らし文化体験、食育体験など、



▲山ヨガ体験

実に60種類以上の体験プログラムを開発し受け入れを行っています。

体験民宿の展開

大紀町地域活性化協議会の組織には、体験施設、体験指導者などで構成された「体験部会」、観光事業者、観光施設などで構成された「観光部会」、そして体験民宿などを中心に構成された「民泊部会」などがあり、農山漁村体験型観光事業をビジネスとして実施できる受入体制を整備しています。

そんな中、体験プログラムの開発や各団体と連携した受入態勢づくりは次々と充実する一方で、宿泊施設が少なく、日帰りの体験メニューしか実施できないことで、町内での消費も伸びずなかなか収益に結びつかないという課題がありました。

平成28年4月に農林漁業体験民宿開業に関する規制が緩和されると、協議会が開業に向けてのサポートを行うことで、新たに開業する体験民宿が徐々に増え始め、協議会が業者間の連携を図り、ある程度まとまった人数を受け入れることが可能となり、この年度に海外から大学生の団体を4回、計130名を受け入れることができ、本格的なビジネスとしての展開の可能性が見えてきたように感じました。その後更に民泊開業は積極的に促進し、現時点で19軒が宿泊の受入態勢



▲民泊体験風景

を整えており、看板・パンフレット、指差しツール等の多言語表示なども行い、海外からの顧客の需要が順調に高まり、インバウンド事業としての成功の役割を十分に果たしているところであります。これからも地域固有の伝統文化や郷

フォーラム



▲錦ブリまつり

大紀町唯一の海岸部には漁業が盛んな錦地区があります。漁獲量は昔に比べると減少しているものの、漁協では

地場産業の活性化

体験メニューで地域おこしが展開される中、昔から続く地域特有の海・山・川の産業が継承されており、体験メニューの中にも数多く組み込まれています。



▲伊勢神宮へ奉納した大内山川の鮎

直営店を開設し、魚介類の販売、加工品の開発など活発な事業展開を示しています。加工品の中では、Fishier 1 グランプリで準グランプリを獲得した「真鯛の塩麹漬け」が多くの食通から高い評価を受けている人気の商品です。

ブリは桜が咲くころに水揚げされるため古くから「サクラブリ」と呼ばれ親しまれており、時期になると「ブリまつり」が行われるほど活気にあふれた代表的な産物です。

海藻「ひろめ」もこの地域だけの貴重な海の幸で、ひろめオーナー制度があり収穫の体験もできます。最近では「塩蔵ひろめ」を商品開発し、季節を問わず食することができるようにもなりました。

養殖魚のイサヤリ体験は海ならでは

の体験メニューで、船に乗ることも楽しみのひとつです。

町が合併したことによって山間部が増え、元々それぞれの地域で行われていた朝市などに冷蔵車を走らせ、新鮮な魚介類を提供する販売方法も今では見慣れた光景となりました。

様々なアイデアが町を活気づけて知名度を上げていると思われず。

清流大内山川の鮎は、清流めぐり利き鮎会\*で全国の準グランプリを獲得しています。おとり鮎を泳がせて釣る「友釣り漁」は、最盛期には県内外からたたくさんの愛好者が川に並び一斉に釣りを楽しむという風景が定番です。

大内山酪農の牛乳は、学校給食では三重県内のシェア率が高く、「大内山牛乳」として関西・中京圏では名が知ら



▲大内山酪農農業協同組合の乳製品

れており、また、伊勢志摩サミットの際に食材として提供したヨーグルト、種類も豊富なアイスクリームやプリンなど、長年親しまれている乳製品が今でも人気を呼んでいます。

三重県といえば松阪牛を連想する人も多いでしょう。実はこの大紀町は古くから和牛の産地で、七保地区では「七保牛」として地域ブランドを確立して肥育が行われています。毎年行われている松阪肉牛共進会では、松阪牛の肥育エリアに加わって以降5度の「優秀賞一席」チャンピオンに輝いており、昨年を含む3年間は連続で制覇し、上位にも大紀町の和牛がずらりと選ばれている快挙を成し遂げており、松阪牛を育てる町の代表格になったと言っても過言ではないと自負するところです。



▲松阪肉牛共進会優秀賞1席(令和元年)



▲世界遺産熊野古道ツツラト峠からの展望

このような体験メニュー、地域特産品が観光に繋がり、交流人口を増やし、町が活性化することに期待を込める他、世界遺産に登録された「熊野古道ツツラト峠」や、伊勢神宮内宮の別宮である「瀧原宮」など名高い文化遺産や観光資源を求めて来訪される方も多く、熊野古道の世界遺産登録時や神宮

### 地域の資源

肥育農家の高齢化が浮き彫りになる中、若い担い手の姿もちらほら見えるようになり、又、肉牛肥育への支援も功を成し、地域に根付いた産業の衰退の歯止めを寄与しているように思われます。

の式年遷宮の影響を受けて入込客が増えることもしばしばあります。

また、海から山へのアップダウンを繰り返す自然の地形を活かしたコースで行われるトレイルランニングレースが最近では若い世代に人気があり、恒例イベントになりつつあります。

大紀町には観光協会がなく、地域の利を活かした体験、自然や文化資源の活用、特産品の販売などは、商工会をはじめとしたいろいろな関連団体なくしては成り立ちません。これからも行政と各種団体、住民が一体となって連携し、大紀町の魅力を余すことなく情報発信していきたいと思えます。

大紀町長 谷口 友見



▲トレイルランニングレース(大紀町シーサイドトレイル)

## 町村専用ページ「町村.com」をご覧ください

<http://www.zck.or.jp/choson/>

全国町村会では、全国の町村との連携を密にし、町村長と町村職員のみなさんの情報収集の利便性を向上させるため、町村専用ページ「町村.com」を開設しています。

「町村.com」では、全国町村会の活動状況や中央省庁などの政策情報を随時ご提供しているほか、全国の町村の先進的な取り組み事例をはじめ、各種統計資料など様々なデータも公表しています。

私どもは、「町村.com」が町村関係者にとって真に役立つホームページとなることを目指し、これからも充実をはかっていきたいと考えています。ご覧になったご感想・ご意見を、下記のメールアドレスにお寄せください。

現在の町村数	
平成31年1月1日現在	926
町	743
村	183
市	792
市町村合計	1,718

[kouhou@zck.or.jp](mailto:kouhou@zck.or.jp)

- ・「町村.com」は、町村関係者の方だけがご利用いただける専用ページです。ご覧になる際は、所定のパスワードが必要になります。
- ・ユーザー名とパスワードは、各町村にお知らせ済み（平成18年9月27日付）ですが、お問い合わせは、全国町村会広報部（kouhou@zck.or.jp）までお願いいたします。



# 町村

# ご当地キャラじまん

Vol.57

東ブロック

特産品だけじゃない!

文化・歴史を身にまとして観光大使!!

ご当地自慢の美味しいものや伝統行事を身にまとい、  
体を張ってPRしているご当地キャラたちを紹介するコーナーです。  
今回は、東ブロック(北海道・東北・関東)からピックアップ。



真室川町イメージキャラクター  
うめ子ちゃん

山形県真室川町

25年以上前から町のイメージキャラクターとして存在している「うめ子ちゃん」。その誕生のエピソードは公式記録として残っていないという、まるで本当の妖精のように、いつの間にか町に溶け込んでいた不思議なキャラクターです。真室川町の食文化や食資源、真室川ブランド認定品などをPRする重要な役目を担っていて、「梅まつり」をはじめ、「真室川まつり」「真室川音頭全国大会」「ホワイトアスロン」などのイベントには積極的に参加。町のPRキャンペーンとあれば、全国どこへでも出かけますが、山形県内では、山形空港や新庄駅、酒田港などによく出没するのだとか。また、真室川町観光物産協会のフェイスブックでも大活躍中!ご当地キャラクターの中では大柄なほうですが、梅の花のようにかわいらしい笑顔をふりまき、これからも町のPR活動に励んでいきます。

梅の妖精。溪流釣りや真室川音頭の踊りが得意。趣味は番楽(山伏神楽)鑑賞と登山。雪国育ちだが除雪は苦手。温泉好きで、特にまわる川温泉の梅里苑が大好き。好きな言葉は「あがらしやれ」

阿見町公式マスコットキャラクター

あみっぺ

茨城県阿見町

2019年に開催された「いきいき茨城ゆめ国体」などのイベントで、阿見町の魅力を広く町内外にアピールするため、老若男女に親しまれ、愛着を持ってもらえるマスコットキャラクターを作ると、2017年にデザインと名称を公募しました。翌年、町民の投票により6作品の中から選ばれたのが「あみっぺ」です。ほっぺに町の木・桜の花のマークをつけていて、こだわりのファッションアイテムは、冒険好きゆえの飛行帽とゴーグル、そして竹で編んだスイカ型のポシェットと、さりげなく町の特産品をアピールしています。いつもあちこちへと飛び回っていますが、8月に開催される「まい・あみ・まつり」や10月の「さわやかフェア」など、町のイベントには積極的に参加する「あみっぺ」。さらに多くの方々に知っていただけるよう、町のPRにも一生懸命取り組んでいきます。



食いしん坊で冒険好きな男の子。特技は誰でも仲良くなれること。メロンパンが大好きで、趣味は世界旅行。飛行船ウォーターメロン号で世界中を旅しながら、阿見町のPRをしている



板倉町公式イメージキャラクター  
いたくらん

群馬県板倉町

2月1日(町制施行日)生まれ。本人は江戸時代の板倉治で生まれ、タイムスリップしてきたと言っている。板倉町役場に居候中。好奇心旺盛だが、実は人見知り。うれしいときや機嫌のいいときに手をハタハタと動かしたり、でんでん太鼓の音を鳴らしたりする。大好物はきんぎょり

イメージキャラクターの持つ親しみやすさで、板倉町の魅力を内外に効果的に発信し、町のイメージアップと知名度向上を図ることを目的として町公式イメージキャラクターの制作を決定。広く全国からデザインと愛称の公募を行い、500点を超える応募作品の中から、行政区及び町内小中学校の協力のもとに町民投票を実施して「いたくらん」が誕生しました。キャラクターのモチーフはナマズ。頭には町の観光名所である雷電神社をイメージした力チユーシヤをつけ、尾びれ背びれの水色は美しい水を表現、おなかには町章が輝いています。毎年8月上旬に開催される「板倉まつり」など、町内のおまつりやイベントに積極的に参加するのはもちろん、町外でもさまざまなイベントやPR活動に参加し、板倉町の魅力を発信していきます。

今回は、中ブロック(北信・東海・近畿)からご紹介します

随 想



随 想  
環境にやさしいまち  
～日本初のZEB庁舎～

かいせい ふ かわ ゆう いち  
神奈川県開成町長 府 川 裕 一

開成町は、神奈川県西部に位置する県内で一番面積が小さく、平坦な町です。昭和30年の町制施行から一貫して人口が増加し続けており、近年の国勢調査では3回連続で人口増加率が県内1位となっています。また、合計特殊出生率も県内1位となるなど、全国的に少子化が進む中で、子どもが多いこと、子育て世代の定住が進んでいることが特徴となっています。

【東日本大震災】

私が町長に就任したのは、東日本大震災が発生した翌月です。

街を飲み込んでいく津波の凄まじい破壊力に言葉も失い、放射性物質の放出を伴った原子力発電所事故の様子に息を呑みました。すぐに頭に浮かんだのは、「わが町の防災体制は大丈夫だろうか？」ということでした。

町長に就任し、直ちに被災地に赴きました。被災地では、住民の安全と安心の拠点であるはずの庁舎が使用できず、想像以上に困難を極めている状況を目の当たりにしました。自分の目で被災地の状況を確認したことにより、復興に必要な防災拠点の重要性を改めて認識しました。

【新庁舎建設を決意】

被災地から戻り、地域防災計画の見直しに取り組み中で、昭和45年に建設され老朽化が著しい現庁舎が、防災拠点としての機能を果たせるか不安が大きくなってきました。

現庁舎の築年数等を考慮し、耐震補強ではなく建替えを判断し、町の最上位計画である総合計画や地域防災計画に庁舎整備の必要性を位置付けるところから取組をスタートしました。

その後、町民の皆さんとともに、新庁舎整備基本構想や基本計画を作り上げ、一つ一つ手順を踏みながら、

新庁舎整備を進めてきました。

【困難を極める】

ところが様々な課題が待ち受けていました。東日本大震災の復興や東京オリンピックの開催による資材の高騰、人手不足が課題となりました。

また、まちづくり町民集会では、建設時期や規模、財政的な不安など様々なご意見をいただき、その一つ一つに丁寧にお答えしてきました。議会においても同様で、やむなく議案を取り下げたこともありまし

た。本格的な整備の検討から着工まで7年の歳月がかかりました。

しかし、その間、熊本地震をはじめ、全国各地で自然災害が多発している状況もあり、多くの皆様から防災拠点としての新庁舎整備の必要性をご理解いただけるようになりまし

【日本初のZEB庁舎】

た。さらに、地球温暖化対策として環境に配慮することも重要な課題でした。

豊富な地下水を活用した空調設備や太陽光発電設備の導入により庁舎として日本初のZEB(ゼロ・エネルギー・ビル)の認証を受けることができました。

また、日本初ということで注目を集め、多数の事業者に入札に参加い

ただいたことで競争原理が十分に発揮され、工事費を抑えることができました。

着工後には、免震装置の不正問題が発覚しましたが、納入前でしたので大事に至らず、結果的に厳しい検査に合格した製品を使用することができました。

国内最大規模の環境イベント「エコプロ」においても、2017～2019年の3年にわたり国のモデル事業として展示スペースをいただき、開成町を全国に向けてPRすることができました。

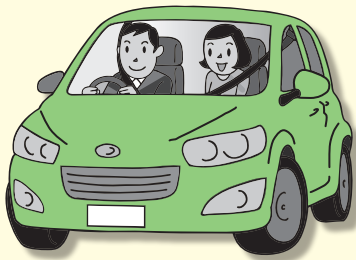
【持続可能な町を目指して】

国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標の中に「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」という目標があります。

開成町は、率先して省エネルギーや創エネルギーの取組を推進する責務を果たしていきたいと考えています。

また、新庁舎の完成を機に、窓口サービスの充実が図られるよう職員が一丸となって、さらなる接遇力の向上に取り組んでいます。

これからも、「いつまでも住み続けたいと思えるまちづくり」を基本姿勢に、町民の皆さんの満足度が高く、多くの方に選んでいただける持続可能な町を目指してまいります。



# 車両共済(保険)のご案内

## (一般自動車保険の車両保険)

この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定搭乗者傷害等に加え「ご自身のおクルマの補償(車両保険)」を追加する制度です。  
お車が衝突した場合や台風・いたずら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、共済(保険)金をお支払いします。

### 町村生協の自動車共済にご加入の皆さまなら!

- 無事故による割引で新規から **43%(保険料)割引**
  - ・ご加入を希望するお車が町村生協の自動車共済で過去3年無事故の場合は、ノンフリート等級9等級からスタートします。
- 集団扱年一括払による割引でさらに **5%割引**
  - ・保険料分割払(12回)も選択可能です。
  - ・保険料分割払をご利用の場合は上記の集団扱年一括払の5%割引の適用はありません。

### さらに 無料ロードサービスがついてきます。

ご契約のお車が、事故、故障で自力走行できなくなった場合、事前にロードアシスタンス専用デスクにご連絡ください。ロードアシスタンス業者にお取り次ぎし、レッカーや30分程度の緊急修理などを手配します。 ●バッテリー上がりや、キー閉じこみ、ガス欠 など

- ・掛金(保険料)は、型式、初度登録年月、年齢条件、運転者限定特約の有無、共済(保険)金額、等級などにより異なります。
- ・このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容については取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

※この車両共済(保険)をご契約いただける方は、全国町村職員生活協同組合の自動車共済に加入されている方に限ります。

●お見積りのご請求・お申込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください●

お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください

TEL

(受付時間：祝日、年末年始を除く月～金 午前9時30分～午後5時)

**0120-731-087**

FAX

**03-3519-7325**

### 株式会社 千里(取扱代理店)

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内

●ホームページアドレス <http://www.chisato-ag.co.jp>

- 「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と損害保険ジャパン日本興亜株式会社とが集団扱契約を締結し、実施しているものです。
- 集団扱としてご契約いただけるのは、保険契約者および被保険者が損害保険ジャパン日本興亜の定める条件を満たす場合のみとなります。詳細については、取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

(車両保険引受保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

[SJNK17-16682(2017.12.28作成)]

# さまざまな「集いの場」を 演出いたします

東京でのイベントに最適な  
絶好のロケーションを誇る全国町村会館。  
かけがえのないひとときを、  
上質なサービスでおもてなしいたします。

県人会など同郷者の集い、  
同窓会、親睦会などの懇談会

観光PR、移住セミナー  
職員採用試験などの説明会

職員旅行・家族旅行

広さと設備が多彩な大ホールと、3つの  
会議室がございます。  
会議・研修、パーティーなどに幅広くご利用  
いただけます。



## 和・洋食のレストランも お気軽にご利用ください

全国町村会館には、  
会議室・宴会場のほかに、  
ふたつのレストランもございます。  
お気軽にお立ち寄りください。



カジュアルレストラン「ペルラン」



和食処「さいかち」

客室のイメージ	SINGLE ROOM シングル 119室	DOUBLE ROOM ダブル 12室	TWIN ROOM ツイン 18室

和室もございますのでお問い合わせください。(禁煙ルームもご用意しております。)  
※市町村職員共済組合等の宿泊助成券がご利用いただけます。



ご予約・お問い合わせ

**全国町村会館**  
**TEL.03(3581)0471**  
FAX.03(3581)0220  
〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号  
ホームページアドレス <http://www.zck.or.jp/kaikan>

- 全国町村会館へのアクセス
- ・有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」3番出口徒歩1分
  - ・丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」徒歩8分
  - ・タクシー東京駅から約20分

